

□ アナリスト週間相場予想

		
江崎		
西		

Pick up News

[注目スケジュール]

- 7/3 欧州中央銀行 (ECB) 理事会、政策金利発表
- 4 米国休場 (独立記念日)
- 7 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
- 10 米新規失業保険申請者件数
- 英中銀 (BOE) 政策金利発表
- 11 米貿易収支、財政収支、ミシガン大消費者信頼感指数
CFTC建玉明細

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京金先限日足である。3150円ところのレジスタンスをブレイクアップしてからも堅調に推移し、適度な押しを入れながら未だ上昇中である。ここからの上値には2月につけた3322円まではっきりしたレジスタンスがなく、少なくともここを目標値にしていくしかない状況。ここ1週間は内部要因的にも、大衆筋の強気買いに日中割高となった場面を商社勢が売りを積み増していくパターンがみられた。いずれにしる日中大衆筋の転売と新規買いで作られた割安・割高場面に商社・外銀の手口が向う形で東京市場は買い方の回転が効いている状態。3300円アッパーを約定し、達成感が出ない事には大幅な押しは予想し難い環境である。ただし注意すべきは14本RSIが現在(7/3 14:35)85.03とかなり高めの数値となっており、高値目標達成前後で調整する可能性は高い。あまり深追いはいできないが、現状は素早く撤収できる準備をしつつ目先の上昇トレンドに乗っていくしかないだろう。

一方白金であるが、こちらは現状トレンドレスといってよい状態。金ほど明確なトレンドを形成しておらず、ボリンジャーバンドを日足に被せると非常によくわかるが、揉み合いを脱しきれていない。アイコンは緩やかな売りサインにしたが、あくまで目先金の買いに対するヘッジという意味合いでしかない為日足チャートが上下どちらかにブレイクした場合は追いかける準備が必要。(7/3 14:45現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

ECBは今晚の理事会にて0.25%の利上げを実施する可能性が極めて高いが、もはやこれは市場には織り込み済みであって、問題はトリシェ総裁が今後の金融政策に対してどのようにコメントするかにかかっている。これまで市場ではEOBは年内は利上げしないとの見方になっていただけに、急速浮上した利上げ観測が結果を見て、年内に追加利上げは実施されないとの判断に傾けば、ユーロには利食い圧力が掛かる公算が大きい。また、その後には米雇用統計の発表も控えている。こちらは先立って発表されたADP雇用報告が市場予想を下回る結果となっただけに、期待感には既に後退しているものと思われ、よほど悪い数字が出ない限りは改めてドル売りの材料になるかは疑問である。

現状、ユーロ/ドル相場は1.59ドル近辺にあるが、これが史上最高値をすんなりと更新するのか、ここでブロックされるかでNY相場の反応が分かれよう。目先の値動きを予想するのはかなり難しいが、週を越えれば米金融機関の決算が控えている。まさに株価が表しているように、米経済の実態は一段と悪化しており、どれだけの追加損失が出るか市場は怯えているようなものだ。ドル安が止まらなければ原油もまた崩れるとは考えにくい。

金には買い手掛かりが多く、目先の下げがあっても動じないことが大事であろう。リスクを抑えるには、明らかに騰勢の鈍っている白金を売りヘッジしておくのが良いと考える。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)